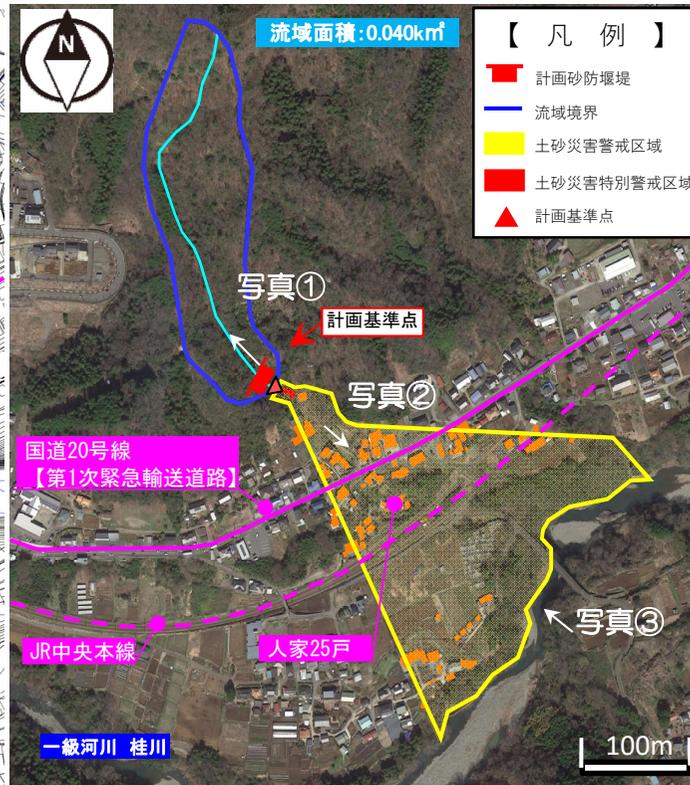
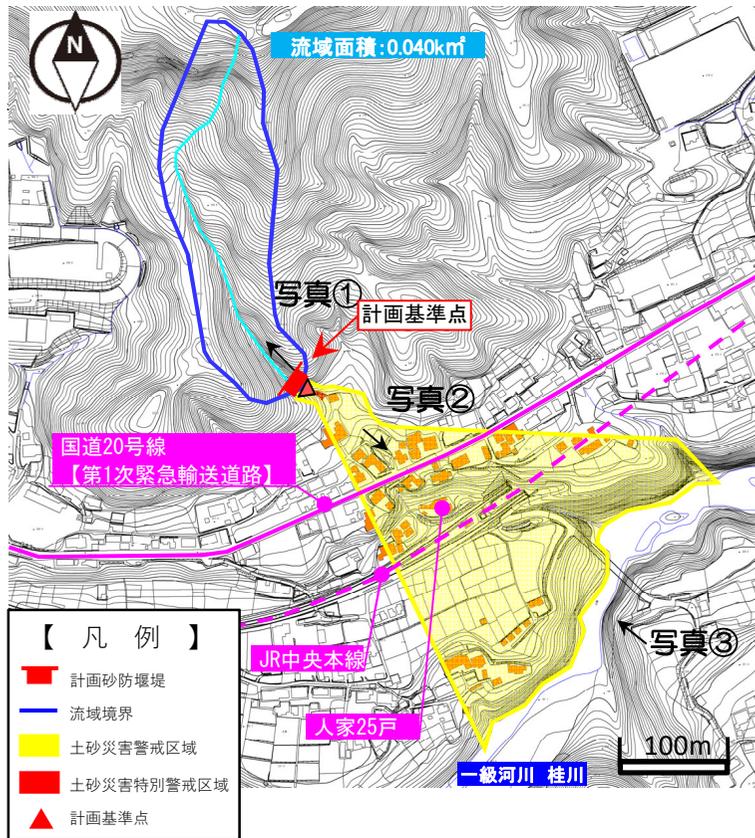


1. 事業説明シート

事業名	砂防事業 [通常砂防事業(国補)]	事業箇所	上野原市四方津	地区名	中丸沢 (ナカマルサワ)	事業主体	山梨県																																																		
(1) 事業の概要				(3) 事業の妥当性評価																																																					
①課題・背景 相模川水系中丸沢は流域面積0.04km ² の土石流危険渓流である。上流域には山腹崩壊が多く発生しており、当該渓流河床部には不安定土砂が多く堆積しているが、砂防堰堤は未整備で危険な状態であり、土石流発生時には地域に大打撃が生じることが想定される。 保全対象には、人家29戸、JR中央本線、国道20号、市道L=680mなどがある。従って、早急に土石流対策の砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止する必要がある。				妥当 妥当でない ①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) 砂防法第5条に基づいており、行政が行うことが妥当 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/>																																																					
②整備目標・効果 □主要目標 ○土石流被害の防止 ・災害実績 無 ・土砂整備率 0% < 70%未済※ ・重要公共施設の有無 有 第1次緊急輸送道路 (R20号) (保全対象=人家29戸、JR中央本線 L=135m、国道L=160m、市道L=680m) ※評価基準値				②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) 砂防法第6条に基づいており、砂防管理者の県が行うことが妥当 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/>																																																					
□副次目標 — □副次効果 被災時の被害波及の防止 (緊急輸送道路・鉄道)				③経済妥当性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/>																																																					
(2) 整備内容				<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">総事業費</td> <td>430 百万円</td> <td colspan="2">工期</td> <td>R6~R15</td> <td colspan="2">基準年</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>344 百万円</td> <td colspan="2">便益</td> <td colspan="3">1,926 百万円</td> </tr> <tr> <td> 建設費</td> <td>344 百万円</td> <td colspan="2">一般資産被害抑止</td> <td colspan="2">672 百万円</td> </tr> <tr> <td> 維持管理費</td> <td>百万円</td> <td colspan="2">公共土木施設等被害</td> <td colspan="2">341 百万円</td> </tr> <tr> <td> </td> <td></td> <td colspan="2">人心被害抑止</td> <td colspan="2">71 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">その他※</td> <td colspan="2">842 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">B/C</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">5.6</td> </tr> </table> ※その他は、応急対策(家計)、人的被害(精神損害) 費用便益比 (B/C) は、国の採択基準1.0を超えている。				総事業費		430 百万円	工期		R6~R15	基準年		R5	経済効率性	費用	344 百万円	便益		1,926 百万円			建設費	344 百万円	一般資産被害抑止		672 百万円		維持管理費	百万円	公共土木施設等被害		341 百万円				人心被害抑止		71 百万円					その他※		842 百万円		B/C						5.6	
総事業費		430 百万円	工期		R6~R15	基準年		R5																																																	
経済効率性	費用	344 百万円	便益		1,926 百万円																																																				
	建設費	344 百万円	一般資産被害抑止		672 百万円																																																				
	維持管理費	百万円	公共土木施設等被害		341 百万円																																																				
			人心被害抑止		71 百万円																																																				
			その他※		842 百万円																																																				
B/C						5.6																																																			
①整備内容 ・砂防堰堤 1基 H=11.5m、L=45.0m				④事業実施・規模の妥当性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 流域の規模、地形、地質等から判断して最も効果的である																																																					
②着手年度 令和6年度 ③完成見込年度 令和15年度				⑤整備手法の有効性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 地形・地質及び流域の状況から土石流対策として最も効果的かつ経済的な砂防施設計画とした																																																					
④総事業費 約430百万円 (国費215百万円(5/10)県費215百万円(5/10))				⑥環境負荷等への配慮 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 掘削法面等に緑化等を施し、環境負荷に配慮																																																					
⑤年度別の整備内容 (事業費)				⑦事業計画の熟度 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 地元の要望に基づいている																																																					
令和6年度 詳細測量、詳細設計、地質調査 20 百万円 令和7年度 用地測量調査、用地取得・補償 30 百万円 令和8年度 管理用道路・工事用道路工 50 百万円 令和9年度 砂防堰堤工 50 百万円 令和10年度 砂防堰堤工 50 百万円 令和11年度 砂防堰堤工 50 百万円 令和12年度 砂防堰堤工 50 百万円 令和13年度 砂防堰堤工 50 百万円 令和14年度 砂防堰堤工 40 百万円 令和15年度 管理用道路工 40 百万円				総合評価 [貢献度ランク: a]																																																					
※記載内容は見込みであり、確定したものではない。				(4) 事業位置図等																																																					
⑥既整備内容・期間・事業費 ・なし																																																									

2. 添付資料シート

【流域概要図】



【堰堤一般図】

